

日本スペイン交流400周年事業
「南蛮漆器:スペインに残された『日本』」展
 スペイン王室貴重財産の「南蛮漆器洋櫃」が公開 6月12日より



国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、スペイン国立装飾美術館(マドリード市)において、同美術館及びスペイン教育・スポーツ・文化省)との共催により、「南蛮漆器:スペインに残された『日本』 - 慶長遣欧使節 400 周年 - 」展を、6月12日より開催します。

本展は、支倉常長を団長とする慶長遣欧使節団のスペイン派遣400周年を記念して開催される日本スペイン交流年事業の一つで、スペイン王室貴重財産「デスカルサス・レアレス修道院・南蛮漆器洋櫃」、スペイン・アメリカ博物館所蔵「メキシコ副王宮殿・副王統治時代の屏風」など、日

本とスペイン、そしてスペイン領メキシコ(当時)にまで広がった文化美術交流の軌跡を、南蛮漆器を中心に様々な展示物で紹介します。

これらを一堂に集め一般公開するのは史上初めてのことで、日本の伝統工芸がイベリア半島と出会うことによって新たに生み出された芸術様式「南蛮」によって、その後埋もれてしまった両国の知られざる交流史を発掘し、両国の相互理解のさらなる進展に寄与することが期待されます。

会期 2013年 6月 12日(水) ~ 9月 29日(日)

会場 スペイン国立装飾美術館

主催 国際交流基金、スペイン国立装飾美術館、スペイン教育・スポーツ・文化省

監修 川村やよい(オビエド大学、文学部美術歴史准教授)

展示内容

第1部 慶長遣欧使節団に関する写真パネル、歴史的文書

慶長遣欧使節の関係人物、古文書、古地図、当時の都市の様子などを写真パネルで展示

第2部 16世紀以降日本から伝来しスペインで保管されてきた南蛮様式の漆器

伝来以来スペイン各地の教会、修道院などで大切に保存されてきた南蛮漆器類と、日本美術の影響を受けて17世紀にメキシコで発展した屏風、絵画、メキシコ・ラッカーなど40点余を展示

スペイン王室貴重財産「デスカルサス・レアレス修道院・南蛮漆器洋櫃」、スペイン・アメリカ博物館所蔵「メキシコ副王宮殿・副王統治時代の屏風」を含む。

お問い合わせ :

日本国内 文化事業部 欧州・中東・アフリカチーム
 (担当:片山) 電話 03 - 5369 - 6058

スペイン マドリード日本文化センター(担当:岡田)

電話 +34 - 91 310 15 38 電子メール rie.okada@fundacionjapon.es



国際交流基金

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1
www.jpf.go.jp